

# 令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

## 下呂市青少年育成市民会議

下呂市では、国・県の青少年健全育成活動に賛同し「大人が変われば、子どもも変わる」をスローガンに、市民の意思を一つに活動していこうと、6月14日（土）に、第20回下呂市青少年育成市民会議を開催し、併せて「少年の主張下呂市大会」「地域学校協働活動実践発表」及び「下呂市青少年育成顕彰「わかあゆ賞」授賞式」を行いました。

また、11月30日（日）には、青少年の国際的視野や自己表現力の醸成を目的とした「WakuWaku インターナショナルフェア」を開催しました。



ジュニアリーダーによる司会

### ○ 第20回下呂市青少年育成市民会議

会に先立ち、下呂市青少年育成顕彰「わかあゆ賞」の授賞式を執り行いました。地域内外において優れた活動をした青少年96名2団体の受賞者のうち、60名2団体が授賞式に参加しました。

少年の主張大会は、市内各中学校から選出された代表6名が主張を行いました。代表生徒の主張は、それぞれの経験をもとにした力強い主張でした。審査の結果、最優秀賞は川井すみれさん(小坂中)、優秀賞は山崎月子さん(金山中)が受賞しました。

続いて、地域学校協働活動推進員 奥田重喜氏が、演題「地域を知り、地域から学ぶ」として宮田小校区の地域学校協働活動についての実践を発表しました。学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的推進している事例を発表され、地域と学校とが連携、協働するからこそ、本物にふれる機会を得て学びが深まることを主張しました。

また本会議には、ジュニアリーダー6名がスタッフの一員として、準備や片付け、司会や受付、表彰補助など活動を共にし、会の主体者に青少年（中高生）が大きくかかわって開催できたことが大きな成果となりました。



主張大会の各校代表者の皆さん



わかあゆ賞授賞式の様子

### ○ WakuWaku インターナショナルフェア

#### 1 事業の目的

- ① 外国語や異文化について、学生を中心とした市民の興味・関心を高める。【多文化共生社会の実現】
- ② 地域社会が一体となり、体験を通して子どもの成長を支える大人の当事者意識を高める。【市民参画型の青少年育成活動の推進】
- ③ 下呂市中学生海外派遣事業（ペンサコーラ、ケチカンでのホームステイ）への理解を深める。「Think globally , act locally (地球規模で考え、足元から行動せよ)」【グローバル化の機会】



開催チラシ

## 2 事業概要

日時 11月30日(日) 13:30~16:30  
場所 金山市民会館  
来場者 小学生、園児とその保護者 52名  
協力者 R6年度ペンサコーラ&ケチカン派遣事業参加者  
(中学3年生)、下呂市国際交流員、市内ALT、  
益田清風高校インターアクト部、市民有志の方  
(海外経験が豊富な方など)、日本語交流サロン  
に参加の皆さん 50名  
担当者 下呂市青少年育成推進員、地域振興課

## 3 イベント内容

### 【海外経験豊富な市民によるブース】

韓国語が堪能な市職員による「アンニョン！韓国のオノノリ(ユンノリ)で遊ぼう」、イスラエルに渡航経験のある方の「イスラエルの紹介」、金山国際交流協会会員による「Cake Walk♪」など、様々な立場の地域の方が参画し、子どもたちの国際感覚や視野を広げ深めました。

### 【日本語交流サロン参加者によるブース】

下呂市では、下呂市在住の外国にルーツのある方に対して、日本語で交流するサロンを開催しています。そこに参加する中国人が、中国語の自己紹介や名札作りをして交流しました。

### 【ALTブース】

市内のALTによる「Let's 英 Go!」で、体を動かしながら英語で交流しました。

### 【中高生の参画によるブース】

下呂中の外国にルーツのある生徒が学ぶ「かけはし教室」の企画・運営によって、「タイやネパールの言葉で名札作り」を体験しました。益田清風高校インターアクト部は、英語カードで「カルタ競争」を行いました。また、ジュニアリーダーは「英語絵本の朗読」を行いました。運営側にも子どもたちが参画することで、地域の多様な大人と子どもの関わりが生まれ、体験を通して互いの学びの場となりました。

### 【中学生海外派遣事業活動紹介】

中学2年生から3年生にかけての春休みに、約10日間ホームステイの経験をした中学生が、小学生の引率を担うと共に、紹介ブースでは、海外派遣の魅力を伝えました。

## 4 成果と今後

昨年度の振り返りをもとに、金山地域を会場として開催しました。これで、市内3地区(萩原・下呂・金山)で開催できました。また、英語だけでなく、韓国や中国、タイやネパールなど、様々な国の文化について学んだり交流したりすることができました。今後は、参加者を増やすために、児童生徒へのイベント告知の仕方を工夫していきたいです。

